



山口大学応用分子生命科学常盤台コロキアム

Tokiwada Colloquium in Yamaguchi University

山口大学工学部（宇部市常盤台二丁目）

医学系研究科応用分子生命科学系（工学系）では、応用分子生命科学常盤台コロキアムを開いています。分子生命科学分野の第一人者の先生方の最先端の研究のお話を聞けるチャンスです。医学系をはじめとし山口大学のすべての大学院学生・学部学生・教職員の参加を歓迎します。また、近隣の研究機関、企業の方もどうぞお誘いあわせの上おいでください。入場無料です。

第 47 回 2014 年 5 月 26 日（月）午後 4 時 10 分より

D21 講義室

山口大学大学院 理工学研究科 特命助教

石川慎吾先生

「磁性ナノ粒子を触媒とした有機合成化学」

石川慎吾先生は、有用物質合成を指向した反応開発を行っている若手研究者です。先生は本学で博士号取得後、カナダの McGill 大学にて鉄コア上に各種金属を担持したナノ粒子触媒について研究をされてこられました。金属触媒による有機合成は古典反応を凌駕する効率で分子を作ることができる一方で、資源枯渇の問題や医薬品への金属残留物の問題から反応後の金属回収が問題になっています。鉄をコアとする金属ナノ粒子は担持した金属の機能を維持しながら、反応後には磁石で回収可能なため資源循環を目指した有機合成を展開することが可能です。本講演では留学時代のお話と共に最新の磁性ナノ粒子触媒についてお話をさせていただきます。

なお、この講義は医学系研究科博士後期課程の「最先端ライフサイエンス研究科目」認定の講演会です。博士課程の学生諸君は、受講簿を持参してください。多数のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先：応用分子生命科学系専攻 上村明男（9231）

